

新しい設置方法で視認性抜群 通路幅確保、女性客も安心の喫煙環境

『スモーククリア』



『スモーククリア』を横向きに設置することで、視認性が高まり、島の状況も把握しやすい

『ピーアーク相模大野』は小田急線相模大野駅から徒歩1分の距離にある駅前店。1階と2階に分かれた遊技フロアの総設置台数は1011台(パチンコ626台、パチスロ385台)、駐車場は1192台分を確保しており、電車でも車でも来店しやすい大型店だ。

そんな同店は居抜き物件を全面改装し、4月28日にグランドオープンした店舗。オープン準備を進めるなかで選んだ喫煙ブースがエルゴジャパンの『スモーククリア』だった。

「当店は全レイトで加熱式たばこを吸いながら遊技できます。この加熱式たばこ喫煙可能エリアにいる紙たばこユーザーがストレスを感じることなく、遊技できる環境を整えるために必要だと思ったのが、グループ店での実績もある『スモーククリア』でした」と話すのは梅木直人店長だ。

同店は『スモーククリア』2人用を1階に8台、2階に4台の計12台を外通路に設置。今まではブースの出入り口を正面に、背面を壁に付けるのが一般的な設置方法だった。相模大野店では『スモーククリア』を横向きにし、2台を背中合わせで設置している。内部排気ですべての設置場所を選ばない『スモーククリア』ならではの設置方法だ。

「この設置方法だと視認性が良くなるので、たばこを吸いながら『どれくらい当たっているか』『打りたい台が空いているか』などを確認できます。自分の台が心配になる方も見渡せるので安心にもつながっています」

視認性が良くなったことで、空き状況などといった島の状況が把握しやすくなり、自身の遊技台が「残保留で当たっていないか」「いたずらされないか」と心配になるお客様も安心して喫煙できる。さらに背中合わせで設置したメリットを語ってくれた。

「当店は『ゆったり、でっかい』をコンセプトに運営しています。背中合わせにすることで隣のブース



外通路に設置し最短距離でたばこが吸えることで、お客様のストレス軽減、稼働口スの軽減につながる

が見えないようになっていたので、女性客も隣のブースの視線を気にせずゆったりと安心して喫煙できます。またこのように設置すると、通路幅も約20cm広がるため、回遊のための移動も妨げません」

同店では「お客様に1分1秒でも長く遊んでほしい」という気持ちから、お客様に目配り気配りしている。喫煙環境にもそうした気遣いを大切にしていると梅木店長は言う。

「加熱式たばこエリアに『スモーククリア』を設置することで、紙巻きたばこユーザーのストレス軽減、そして稼働口ス軽減につながりますし、少しでも長く楽しんでいただける。お客様同士に気を使わせない配慮をするのも、お店の努力だと思えます。これからもお客様が安心・安全で快適に遊技できるようにサポートしていきたいです」